

RCNPワークショップ「原子核・ハドロン物理におけるスピンの魅力」 006年2月2日－3日 大阪大学核物理研究センター

2月2日(木)

座長：保坂 淳 (RCNP)

- 13:30 - 14:00 土岐 博 原子核でのスピン偏極のメカニズム
- 14:00 - 14:30 鹿取 謙二 共著「スピンと偏極」についてと載せられなかった「スピン・スピン相互作用」について
- 14:30 - 15:00 民井 淳 High-resolution study of spin-flip excitations via (p,p') reactions
- 15:00 - 15:30 野呂 哲夫
- 15:30 - 16:00 休憩
- 座長：土岐 博 (RCNP)
- 16:00 - 16:30 酒見 泰寛 コヒーレントパイ中間子生成による核力短距離相関の研究
- 16:30 - 17:00 緒方 一介 Solution to the longstanding analyzing power problem for inclusive quasielastic (p, p') scattering
- 17:00 - 17:30 明 孝之 He同位体におけるテンソル相関の役割
- 18:00 - 20:00 夕食 (ミネルバ)

2月3日(金)

座長：鈴木 克彦 (沼津)

- 10:30 - 11:00 鈴木 徹 核子移行反応と偏極移行量
- 11:00 - 11:30 梅谷 篤史 中性子 EDM に対する核構造計算からのアプローチ
- 11:30 - 12:00 芳賀 昭弘 原子核にトラップされたミューオンスピンによる核分極依存性
- 12:00 - 13:30 昼食
- 座長：鈴木 徹 (首都大東京)
- 13:30 - 14:00 鈴木克彦 高エネルギーハドロン衝突における生成ハイペロンの偏極現象
- 14:00 - 14:30 保坂 淳 偏極反応による未知量子数の決定法
- 14:50 - 15:00 兵藤 哲雄 Kaon induced Theta+生成
- 15:00 - 15:30 矢部 正之 核反応プログラム開発と原子核研究
- 15:30 - 16:00 梶野 敏貴